

オランダ

2020年11月26日

海外調査部・アムステルダム事務所

2019年の貿易は、輸出が前年比3.6%増、輸入が4.1%増でともに増加した。輸出額の44.5%を占める再輸出は4.8%増、55.5%を占めるオランダ製品の輸出額は2.8%増だった。外国直接投資は、対内、対外ともに前年の2,000億ユーロを超える引き揚げ超過からプラスに転じた。対日貿易は、輸出が2.8%増、輸入が3.4%増でともに拡大した。日本企業による投資はエネルギー、IT分野で大型買収案件がみられた。

■輸出・輸入ともに堅調な伸び

2019年の貿易は、輸出が前年比3.6%増の5,160億900万ユーロ、輸入が4.1%増の4,595億7,800万ユーロとなり、ともに増加した。輸出の44.5%を占める再輸出は4.8%増の2,296億8,000万ユーロ、55.5%を占めるオランダ製品の輸出額は2.8%増の2,863億2,900万ユーロとなった。再輸出に占める割合が高かった品目は、雑製品が66.2%で、次いで機械類・輸送用機器が55.3%であった。再輸出率を地域別にみると、EUの50.5%を筆頭に、オセアニアが41.5%、米州が31.3%と続いた。

輸出を品目別（総額ベース）にみると、最大の輸出品目である機械類・輸送機器類（構成比29.6%）が前年比6.4%増だった。そのうち、電気機械・機器その他（5.8%）が9.6%増、特定産業用特殊機械類（4.7%）が6.7%増と牽引した。次に輸出額が大きい化学製品（17.0%）は、医薬品（5.4%）が11.1%増と好調だったが、有機化学品（3.2%）が13.4%減、プラスチック類（2.6%）が7.6%減と落ち込んだため、1.0%増の小幅な伸びとなった。

輸出を国・地域別にみると、全体の7割近くを占めるEU（構成比69.7%）は前年比2.1%増となった。最大の輸出先であるドイツ（22.2%）は1.2%増にとどまった。同国向け輸出の最大品目である機械類・

輸送用機器類（22.7%）が4.8%増、雑製品（12.3%）が7.4%増と好調だったものの、化学製品（15.8%）が6.0%減、工業製品（10.6%）が2.9%減と縮小したことによる。そのほか、ベルギー（10.1%）が3.0%増、フランス（7.8%）が3.2%増と伸びた。一方、英国（7.7%）は前年の1.1%増から0.8%減と減少に転じた。EU域外で最大の輸出先である米国（5.2%）は15.5%増と前年に引き

表1 オランダの主要品目別輸出入（再輸出を含む総額ベース）

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2018年	2019年			2018年	2019年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
機械類・輸送用機器	143,857	152,993	29.6	6.4	138,078	150,504	32.7	9.0
化学製品	86,708	87,538	17.0	1.0	54,473	58,632	12.8	7.6
鉱物性燃料・潤滑油・その他	68,903	68,218	13.2	△1.0	79,569	74,466	16.2	△6.4
食料品および動物	63,439	66,720	12.9	5.2	42,140	43,755	9.5	3.8
雑製品	58,224	63,766	12.4	9.5	58,526	63,296	13.8	8.2
工業製品（原料別製品）	42,399	41,938	8.1	△1.1	43,685	43,794	9.5	0.2
非食品原材料	22,435	22,734	4.4	1.3	15,795	16,022	3.5	1.4
飲料およびたばこ	5,762	5,924	1.1	2.8	3,976	4,172	0.9	4.9
動植物性油脂	3,675	3,711	0.7	1.0	4,602	4,640	1.0	0.8
合計（その他含む）	497,874	516,009	100.0	3.6	441,275	459,578	100.0	4.1

[注] EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告に基づく。

[出所] オランダ中央統計局 (CBS)

続き大幅に増加した。石油・石油製品(16.3%)の55.5%増、医薬品(4.8%)の98.3%増が牽引した。アジア大洋州(9.0%)は、台湾(1.5%)が78.2%増、中国(2.5%)が9.0%増と好調だったが、韓国(0.8%)が27.5%減、ASEAN(1.7%)が14.3%減と落ち込んだため、4.6%増にとどまった。

輸入を品目別にみると、最大の輸入品目である機械類・輸送用機器類(構成比32.7%)は前年比9.0%増と堅調に増加した。そのうち、電気機械・機器その他(7.4%)が10.0%増、道路用車両(5.7%)が7.5%増と大きく伸びた。次に輸入額が大きい鉱物性燃料・潤滑油・その他(16.2%)は、原油価格と天然ガス価格の低下を受けて6.4%減となった。

輸入を国・地域別にみると、全体の5割強を占めるEU(構成比52.8%)が前年比2.8%増だった。最大の輸入元であるドイツ(17.1%)は1.2%増、続くベルギー(9.9%)は2.6%増となった。一方、英国(5.4%)は6.2%減となり、最大の輸入品目である鉱物性燃料・潤滑油・その他(38.9%)の12.8%減、次に輸入額が大きい機械類・輸送用機器類(19.4%)の5.3%減が影響した。EU域外では、ドイツ、ベルギーに次ぐ3位の輸入相手国である中国(9.4%)が9.7%増と伸びた。電気機械・機器その他(12.3%)の30.0%増、通信・録音機器(22.2%)の8.7%増が牽引した。米国(8.2%)も医薬品などが好調で11.7%増と拡大した。一方、鉱物性燃料・潤滑油・その他の比率が高いロシア(3.3%)、ノルウェー(2.7%)はそれぞれ12.0%減、12.5%減と大幅に減少した。

2020年上半期の貿易は、輸出が前年同期比8.8%減の2,344億2,700万ユーロ、輸入が9.1%減の2,091億8,700万ユーロ、再輸出が5.5%減の1,069億8,400万ユーロとなった。新型コロナウイルス感染拡大防止策による経済活動の停滞や消費縮小に加え、原油などの資源価格下落の影響が続いているとみられる。

■直接投資額は対内・対外ともにプラスに回復

オランダ国立銀行によると、2019年の対内直接投資額(国際収支ベース、ネット、フロー)は251億8,700万ユーロ、対外直接投資額は695億4,600万ユーロで、ともに前年の2,000億ユーロを超える引き揚げ超過からプラスに転じた。

対内直接投資を国・地域別にみると、香港からの投資が300億9,800万ユーロと最も大きく、ドイツ、スイスが続いた。一方、米国は引き揚げ超過幅が前年より縮小したものの、620億4,600万ユーロの引き揚げ超過となった。

対内直接投資案件では、フランスの電機大手タレスが2019年4月、ICチップ大手ジェムアルトを48

表2 主要国・地域別輸出入(再輸出を含む総額ベース)

(単位:100万ユーロ、%)

	輸出(FOB)				輸入(CIF)			
	2018年	2019年			2018年	2019年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU	352,382	359,635	69.7	2.1	235,902	242,579	52.8	2.8
ドイツ	112,983	114,350	22.2	1.2	77,615	78,569	17.1	1.2
ベルギー	50,551	52,092	10.1	3.0	44,143	45,305	9.9	2.6
フランス	39,052	40,303	7.8	3.2	16,542	17,051	3.7	3.1
英国	40,137	39,828	7.7	△0.8	26,256	24,623	5.4	△6.2
イタリア	20,353	20,466	4.0	0.6	10,767	11,763	2.6	9.3
スイス	6,086	6,961	1.3	14.4	2,433	2,978	0.6	22.4
ロシア	5,394	6,451	1.3	19.6	17,246	15,174	3.3	△12.0
トルコ	5,483	5,635	1.1	2.8	3,465	3,921	0.9	13.2
ノルウェー	4,325	4,875	0.9	12.7	14,099	12,337	2.7	△12.5
アジア大洋州	44,599	46,633	9.0	4.6	88,853	96,855	21.1	9.0
中国	11,736	12,792	2.5	9.0	39,192	43,010	9.4	9.7
台湾	4,472	7,968	1.5	78.2	3,418	3,981	0.9	16.5
日本	4,417	4,539	0.9	2.8	7,838	8,103	1.8	3.4
韓国	6,041	4,377	0.8	△27.5	3,503	3,691	0.8	5.4
ASEAN	9,976	8,549	1.7	△14.3	23,790	25,749	5.6	8.2
北米	29,549	33,491	6.5	13.3	37,350	41,629	9.1	11.5
米国	23,060	26,623	5.2	15.5	33,805	37,745	8.2	11.7
アフリカ	16,130	16,783	3.3	4.0	11,069	12,218	2.7	10.4
合計(その他含む)	497,874	516,009	100.0	3.6	441,275	459,578	100.0	4.1

[注] ①EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告に基づく。

②アジア大洋州は、ASEAN+6(日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インド)に香港、台湾を加えた合計値。北米は、米国、カナダ、メキシコの3カ国の合計値。

[出所] オランダ中央統計局(CBS)

億ユーロで買収を完了したIT関連のほか、エネルギー、食品・飲料が目立った。また、英国のEU離脱（ブレグジット）をめぐる動向も対内投資の追い風になった。オランダ投資誘致局の2020年2月発表によると、2016年以来ブレグジットを理由にオランダに拠点を設置した企業は140社、そのうち79社が2019年に英国から移転してきた。ブレグジット後の欧州医薬品庁の阿姆斯特ダムに移転を見据え、米国の医薬品開発支援を行うアトランティックリサーチ、塩野義製薬などがオランダに欧州統括拠点を設置した。

表3 国・地域別対内・対外直接投資（国際収支ベース、ネット、フロー）

(単位：100万ユーロ)

	対内直接投資		対外直接投資	
	2018年	2019年	2018年	2019年
	金額	金額	金額	金額
EU	△10,819	△32,054	△231,817	37,428
ドイツ	41,897	18,331	39,224	△10,197
イタリア	△172	7,022	4,035	8,630
ベルギー	△16,507	6,524	△2,002	△17,091
フランス	15,767	3,914	8,306	11,137
英国	79,731	△3,206	△10,831	22,931
ルクセンブルク	△90,659	△13,846	△196,340	△13,167
アイルランド	△39,079	△48,131	△32,581	44,877
香港	4,601	30,098	1,860	13,732
スイス	36,251	10,708	55,075	22,063
中国	△668	4,578	△179	2,904
日本	△8,637	1,523	3,752	9,575
カナダ	75,090	△24,507	88,458	△3,854
米国	△221,775	△62,046	△12,126	△94,130
合計（その他含む）	△210,989	25,187	△201,656	69,546

〔出所〕オランダ国立銀行（DNB）

表4 オランダの主な対内直接投資案件（2019年～2020年3月）
（M&A以外）

業種	企業名	国・地域	時期	投資額	概要
食品・飲料	ダノン	フランス	2019年3月	2億4,000万ユーロ	クアイクにニュートリシア（乳幼児向け栄養食を扱う子会社）の乳児用粉ミルク工場を開設。500人を雇用予定。
食品・飲料	イノセントドリンクス	英国	2019年9月	2億2,300万ユーロ	ココ・コーラ傘下のイノセントドリンクスはロッテルダム・フード・ハブに欧州17カ国市場向けのチルド飲料の製造工場を建設すると発表。
Eコマース	ザランド	ドイツ	2019年7月	2億ユーロ	プレイスウェイクに西欧向けの1,600万品目を取り扱う物流配送センターを建設すると発表。1,500人を雇用予定。
エネルギー	ユースエナジー	日本	2019年7月	非公表	南ホラント州の風力発電所Windpark Spuiの建設が完成し、商業運転を開始したと発表。2万4,000世帯の消費量に相当する電力を供給する。

（M&A）

業種	被買収企業（事業）		国・地域	時期	投資額	概要
	企業名	企業名				
IT	ジェムアルト	タレス	フランス	2019年4月	48億ユーロ	タレスは、ICチップ大手のジェムアルトの買収を完了。タレスの「デジタルアイデンティティ&セキュリティ」部門に両社のセキュリティ部門が集約された。
エネルギー	エネコ	三菱商事、中部電力	日本	2020年3月	41億ユーロ	三菱商事と中部電力は共同で設立した会社（オランダ）を通じて、総合エネルギー事業会社エネコの100%株式の買収を完了した。
飲料	ハイネケン	チャイナ・リソース・ビール	香港	2019年4月	23億5,467万香港ドル	中国最大手の華潤ビールは同業ハイネケンの中国事業の買収を完了した。ハイネケンは華潤ビールに対し中国本土、香港、マカオでの独占的なブランド使用を認める。
IT	トムトム	ブリヂストン	日本	2019年4月	9億1,000万ユーロ	ブリヂストンは、オンライン地図情報の提供を行うトムトムのオンライン運送管理事業を運営する子会社の買収を完了。

〔出所〕各社発表および報道などから作成

表5 オランダの主な対外直接投資案件（2019年～2020年6月）

（M&A以外）

業種	企業名	投資先国	時期	投資額	概要
物流	ロイヤル・ヴォバック	バキスタン	2019年8月	28億ドル	LNG（液化天然ガス）基地関連への投資を発表。
飲料	ハイネケン	モザンビーク	2019年3月	8,500万ユーロ	マプト近郊にモザンビーク初のビール醸造所を開設したと発表。200人を雇った。
エネルギー	ロイヤル・ダッチ・シェル	米国	2019年8月	非公表	ロイヤル・ダッチ・シェルの子会社を通じて、メキシコ湾のパワーアップ大水深海洋石油開発プロジェクトに最終投資決定（FID）を行ったと発表。

＜M&A＞

業種	被買収企業（事業）			時期	投資額	概要
	企業名	企業名	国籍			
ジャスト・イート・テックアウェー	フード・デリバリー	クラブハブ	米国	2020年6月	73億ドル	オンラインフードデリバリーサービスを提供するジャスト・イート・テックアウェーは、米同業のクラブハブを買収すると発表。2021年第1四半期（1月～3月）に株式取得を完了予定。
テックアウェー・ドットコム	フード・デリバリー	ジャスト・イート	英国	2020年4月	62億ポンド	英同業のジャスト・イートの吸収合併が完了したと発表。新社名は「ジャスト・イート・テックアウェー」。
ユーロネクスト	証券取引所	オスロ証券取引所	ノルウェー	2019年7月	7億1,400万ユーロ	欧州最大の証券取引所ユーロネクストは、ノルウェーの証券取引所の買収が完了したと発表。

〔出所〕各社発表および報道などから作成

対外直接投資を国・地域別にみると、ルクセンブルクの引き揚げ超過額が前年の1,963億4,000万ユーロから131億6,700万ユーロに縮小し、アイルランドや英国向けの投資が前年の引き揚げ超過からプラスに転じたため、EU全体で前年の2,318億1,700万ユーロの引き揚げ超過から374億2,800万ユーロのプラスに転じた。

■日本企業による大型投資相次ぐ

2019年の対日輸出は前年比2.8%増の45億3,900万ユーロ、輸入は3.4%増の81億300万ユーロであった。オランダ産品の輸出は2.4%増の28億7,400万ユーロ、再輸出も3.4%増の16億6,500万ユーロとなった。

対日輸出を品目別にみると、最大の輸出品目である機械類・輸送機器類（構成比37.6%）が前年比4.1%増となった。そのうち、電気通信機器、録音再生装置（6.6%）が前年の2.1倍を上回る2.7倍、電気機械・機器その他（7.0%）が22.2%増と大きく伸びた。化学製品（18.1%）は、医薬品（10.7%）の16.2%増が牽引し、8.0%増となった。そのほか、食料品および動物（13.0%）が5.7%増、飲料およびたばこ（3.1%）が94.5%増と顕著な伸びを示した。2019年2月に発効した日EU・EPAによる関税撤廃や関税引き下げの効果が表れたとみられる。

対日輸入を品目別にみると、化学製品（構成比11.7%）が前年比26.1%増と拡大した。中でも、有機化学品（37.8%）が前年の30.5%減から72.9%増へ転じたことによる影響が大きい。一方、機械類・輸送用機器（65.4%）は、道路用車両（11.4%）が19.3%減、事務用機器・計算機（28.7%）が3.4%減となり、1.3%減となった。

オランダ国立銀行によると、2019年の日本からの対内直接投資額は15億2,300万ユーロ、日本への対外直接投資額は95億7,500万ユーロだった。

日本企業による対内直接投資はM&A、グリーンフィールドともに活発だった。京セラが2019年3月、空圧工具メーカーのファンアーデングループの全株式を53億円で買収したほか、ブリヂストンは4月、トムトムの子会社を9億1,000万ユーロで買収、ダイフクは8月、空港向けシステム事業を展開するスクラビーエイビエーショングループを買収した。また、富士フィルムが7月に30億円を投じて細胞用培地生産施設を建設すると発表した。2020年以降は、三菱商事と中部電力が共同で3月に電力会社エネコの100%株式取得を完了し41億ユーロで買収した。

表6 オランダの対日主要品目別輸出入（再輸出を含む総額ベース）
（通関ベース）

（単位：100万ユーロ、%）

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2018年		2019年		2018年		2019年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
機械類・輸送用機器	1,639	1,707	37.6	4.1	5,368	5,297	65.4	△1.3
雑製品	929	860	18.9	△7.4	1,157	1,240	15.3	7.2
化学製品	762	823	18.1	8.0	750	946	11.7	26.1
食料品および動物	560	592	13.0	5.7	49	61	0.8	24.5
非食品原材料	131	211	4.6	61.1	88	93	1.1	5.7
工業製品（原料別製品）	198	177	3.9	△10.6	368	405	5.0	10.1
飲料およびたばこ	73	142	3.1	94.5	24	31	0.4	29.2
特殊取扱品	17	16	0.4	△5.9	3	3	0.0	0.0
動植物性油脂	7	10	0.2	42.9	13	11	0.1	△15.4
合計（その他含む）	4,417	4,539	100.0	2.8	7,838	8,103	100.0	3.4

〔出所〕オランダ中央統計局（CBS）

オランダからの対日投資案件としては、科学機器メーカーのベルダー・インターナショナルが2019年6月、粉体計測機器メーカーのマイクロトラック・ベル（大阪府）を買収した。大手旅行会社BCDトラベルアジアは7月に日立トラベルビューローの株式70%を日立物流から取得した。

主要経済指標

	2017年	2018年	2019年
①人口：1,782万人（2019年）			
②面積：4万1,543km ²			
③1人当たりGDP：5万2,448米ドル（2019年）			
④実質GDP成長率（%）	2.9	2.6	1.8
⑤消費者物価上昇率（%）	1.4	1.7	2.6
⑥失業率（%）	4.9	3.8	3.4
⑦貿易収支（100万ユーロ）	71,944	71,611	68,211
⑧経常収支（100万ユーロ）	79,878	83,869	80,599
⑨外貨準備高（グロス） （100万米ドル）	12,893	13,195	13,331
⑩対外債務残高（グロス） （100万ユーロ）	3,750,045	3,747,139	3,725,548
⑪為替レート（1ユーロにつき、 1米ドル、期中平均）	0.8852	0.8468	0.8933

〔注〕 ⑥：15～75歳、⑦：国際収支ベース（財のみ）
 〔出所〕 ①②④⑤⑥：オランダ中央統計局（CBS）、③：世界銀行、⑦⑧⑩：オランダ国立銀行（DNB）、⑨⑪：IMF

（お問い合わせ先）

海外調査部 欧州ロシアCIS課

ORD@jetro.go.jp